

令和 7 年度第 1 回 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会

次 第

日時：令和 7 年 7 月 9 日（水）14 時～
会場：川崎市青少年科学館 自然学習棟 2 階 学習室

1 開会

2 委嘱状交付

3 館長挨拶

4 議題

令和 7 年度予算・事業計画について ······ 資料 1

5 報告事項

(1) 青少年科学館専門部会今後のスケジュールについて ······ 資料 2
(2) その他

6 閉会

【参考資料】

科学館だより 6・7 月号

もりのにじ夏号

川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会 委員名簿

任期：令和6年5月1日から令和8年4月30日まで

		氏 名	役職等
1 号	教育職員	井上 清一	玉川小学校 校長
		高橋 泉	王禅寺中央中学校 校長
2 号	社会教育 関係		欠 員
3 号	公募市民	南條 邦子	
		間渕 秀和	
4 号	学識 経験者	佐藤 武宏	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 (貝類学・甲殻類学・機能形態学)
		山岡 均	国立天文台天文情報センター 広報室長／准教授 (天文学)
		常喜 豊	昭和女子大学名誉教授 (動物生態学)
		栗芝 正臣	専修大学ネットワーク情報学部 准教授 (デザイン学)
5 号	家庭教育 関係	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長

令和7年度 青少年科学館予算・事業計画

1 事業内容と予算

事業名	事業内容	R7 予算額 (千円)	R6 予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
青少年科学館運営管理事業費	事業実施、研究調査、展示設備等保守、会計年度任用職員任用、備品・消耗品の調達等、学芸業務に係る事業費、21世紀子どもサイエンス事業費	29,760	18,524	11,236	備品購入費等の増額
青少年科学館指定管理経費	館の管理運営業務、広報業務等の指定管理者への委任に係る事業費	87,307	87,307	0	第3期指定管理3年目
メガスター運営経費	最新鋭の投影設備を備えたメガスターⅢ フュージョンの保守管理(14年目保守)、番組制作の委託に係る事業費	29,673	35,482	△5,809	フュージョン番組の制作がないことによる減額
ホウドジヨウ人工飼育事業費	絶滅危惧種である生田緑地産ホウドジヨウ系統保存の委託に係る事業費	176	176	0	
合 計		146,916	141,489	5,427	

2 事業計画

引き続き収集保存事業、展示事業、調査研究事業、教育普及事業、ネットワーク事業を行う。施設の運営管理等については指定管理者に委託する。

(1) 収集保存事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 収蔵資料の収集・分類・整理（台帳化）	新規資料の作製を進める。収蔵庫にある未登録資料のうち既存の昆虫標本4,000点を目標に整理・登録（電子台帳化）進める。	通年	新規資料として昆虫資料30点を採集。未登録資料541点を登録。 ※5月末現在
	2 GBIF等国内外機関への資料情報の提供	「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」「地球規模生物多様性情報機構（GBIF）へのデータ提供により、国内外へ収蔵資料情報を公開する。	通年	本年度は植物標本等、資料1,100点を提供予定
天文	1 プラネタリウム番組のアーカイブ化	番組制作の際に収集した資料、番組素材のアーカイブ化を行う。 資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなど検討を行う。	通年	番組資料の統一フォーマットを作成しアーカイブの目録を作成中。 富田資料等についてはデジタル化と目録作成を進めている。
	2 天文資料の整理保存	故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録作成を進める。	通年	
科学	1 科学実験についての資料収集と保存・管理	科学実験教室等で提出される計画書・報告書の管理及び実践事例集を作成し、科学市民団体と取組や成果の共有を図る。館内視聴やSNS活用を踏まえて、科学工作を紹介する動画や写真素材を収集し編集する。	通年	計画書・報告書を実施の都度、管理・集約中。 科学工作の動画更新の企画中。

(2) 展示事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 生田緑地の自然情報の発信	生田緑地における自然について、受付横の生田緑地マップやSNSなどを活用してリアルタイムな情報発信を行う。	通年	受付横の生田緑地マップを2週間に1回程度、SNSを9回更新。※5月末現在
	2 自然史資料による常設展示の更新	生田緑地の四季により、ピックアップ展示で標本・キャプションによる展示更新を実施する。	通年	四季により年4回中1回更新、ピックアップ展示を年7回中2回更新。※5月末現在
	3 5月10日の地質の日を記念した特別展示の開催	当館収蔵の川崎市地域文化財「オシ沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本」の5点、全長約20mを5月11日に公開する。	1回	5月に実施済み。当日は延べ913人の来場。
	4 企画展の開催	「どうなる？どうする？生物多様性と外来生物」として、生物多様性と私たちの暮らしの関わりや外来生物によって引き起こされる問題に焦点をあてた企画展を実施する。	1回	7月23日から8月24日まで開催
天文	1 プラネタリウム一般投影（一般投影番組制作含む）	市民への天文知識普及を目的に、毎月テーマを変えて投影する。	通年	
	2 子ども向け投影（子ども向け番組制作含む）	幼児・小学生を対象に約2カ月ごとに番組を変えて投影する。 (土・日・祝日：1日1回、夏・冬・春休み期間：1日2回)	通年	今年度中に新番組1本を制作予定
	3 星空ゆうゆう散歩	平日午後にシニア向け投影として実施する。元職員の國司眞氏が解説を担当する。	11回	
	4 ベビー&キッズアワー	4歳までの乳幼児とその保護者を対象とした投影を第1木曜日、第3水曜日（学校の長期休業期間等を除く）に開催する。	通年	
	5 プラネタリウム学習投影	小中高等学校の学習指導要領に準拠した投影を行い、この他幼稚園・保育園等を対象とした投影も実施する。	通年	要望に応じて随時対応
	6 星空自由空間（一般団体貸切利用）	平日に一般団体による貸切利用を受入れ。投影内容等のカスタマイズに応じる。	通年	要望に応じて随時対応
	7 プラネタリウム字幕付投影	聴覚障がい者向けに字幕解説付きのプラネタリウム投影を実施する。	1回	
	8 天文関連展示事業	天文に関する常設展示の他、プラネタリウム番組やイベントに関連した写真展など企画展示を開催するとともに、市役所本庁舎においてオーロラ写真パネル展を開催する。	通年	
科学	1 市民協働の科学工作展示	科学実験教室・サイエンスワークショップ等で取り組んだ科学工作物や原理をパネル展示や映像資料として公開する。	通年	市民団体との協働にて展示内容を随時更新。AR展示を継続し、動画などの映像資料を更新。

(3) 調査研究事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 市域の生物調査	生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、生息状況把握のための実態調査を実施する。	通年	委託事業として4月から実施。
天文	1 川崎市域の星の見え方調査	市民協働により川崎市域における星の見え方調査を継続して実施する。	2回	インターネットでの調査を実施
	2 天体の観測	太陽望遠鏡での白色光及びH α 光による太陽観測、アストロテラス、天体観測室の望遠鏡及び冷却CCDカメラ等の観測装置を活用した観測的研究を行う。	通年	条件の良い日に随時観測を行う。
科学	1 ワクワクドキドキ玉手箱の開発	授業活用をねらい、玉手箱の新たなテーマとして生物の多様性について体験を通して学べるキットの開発を進める。	通年	市民団体と開発時期、内容の検討中
	2 GIGA 端末用教材の改良及び開発	GIGA 端末上で公開している小学校地層学習の教員向けデジタル教材に対する意見を収集し、サイトの改良を進める。中学校の地層学習に関連したプログラムについても研究する。	通年	地層デジタル教材を GIGA 端末上で公開中。端末を使って意見を収集中。

(4) 教育普及事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫など、四季折々の自然を観察する観察会を実施する。	25回	実施中
	2 サイエンス教室（自然分野）	収蔵庫を見学するバックヤードツアー、学芸員のおしごと体験教室、多摩川での観察会を含む教室等を実施する。	10回	6月から実施中
	3 サイエンスワークショップ（自然分野）	特別展示とあわせて実施するワークショップを含め、動植物等をテーマに、自然に興味関心を持つきっかけとなるワークショップを実施する。	14回	実施中
	4 自然サポーター研修会	自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座を実施する。	4回 (連続講座)	9月から10月にかけて実施予定
	5 自然観察（地層・林）	学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層及び林の観察会を実施する。	通年	要望に応じて随時対応
	6 総合的な学習の時間支援	小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援を行う。	通年	要望に応じて随時対応
天文	1 アストロテラス公開	平日の昼間アストロテラスにて太陽の観察を行う。 月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を実施し、太陽と1等星や惑星などを観察する。	通年	実施中
	2 アストロテラス夜間一般公開	日没後アストロテラスにて当日自由参加の天体観察会を実施する。	13回	6月まで3回計画・3回中止

	3 特別観望会	珍しく観察しやすい天文現象等を観察する観望会を開催する。	1回	11月に環が消失した土星の観望会を開催予定。
4	プラネタリウムワークシヨップ	小学生を対象とし、プラネタリウムの番組を企画・制作・投影する教室を実施する。	12回 (連続講座)	5月から実施中
5	プラネタリウム発表会	近隣の学校と連携した事業として日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組を制作、投影発表会を開催する。	1回	8月に発表会開催予定
6	天文講演会／天文講座	外部から講師を招き天文等に関する講演会を開催する。	1回	
7	天文サポーター研修会	天文事業を支援するボランティアの定期的な会合を実施し、事業の準備や研修を行い、スキルアップと事業の充実を図る。	12回	月1回定例会を実施中
8	プラネタリウム イベント投影	プラネタリウムの星空と音楽や映像を楽しむコンサートや映像イベントを開催する。	2回	11月にコンサート、12月にオーロラ上映会開催予定
9	かわさき星空ウォッチング	アストロカー(移動天文車)で市内各地に出向き、天体観察会を実施する。	通年	要望に応じて随時対応
10	サイエンス教室 (天文分野)	アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察等を体験する教室や、小学生を対象としてプラネタリウムの解説など、天文学芸事業を体験する学芸員のおしごと体験教室等を実施する。	10回	5月から実施中
科学	1 出前科学実験教室	小中学校等の依頼に基づき、市民団体を講師として派遣し、ワクワクドキドキ玉手箱を活用して科学実験教室を行う。	通年	実施中
	2 サイエンス教室 (科学分野)	様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる事前申込制の実験や工作の教室を行う。 子ども向け 27回 大人向け 2回	29回	実施中
	サイエンスワークショップ (科学分野)	子どもから大人まで楽しめる当日参加型のイベント。サイエンスをテーマにした簡単な工作や観察・実験を実施する。	49回	実施中
	科学実験ショー (サイエンスショー)	液体窒素から身近な素材まで幅広いテーマで科学実験ショーを実施する。※11/3、2/23 の2日間を予定 (トラボクラブ担当)	2回	11・2月実施予定
	4 第20回かわさきサイエンスチャレンジ	子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、KSP(かながわサイエンスパーク)で開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」において、科学実験教室を出展する。	1回	8月開催予定
	5 科学サポーター研修会	科学実験指導者を養成することを目的とした講座を実施する。	6回 (連続講座)	7月13日から全6回講座を実施予定

	6	子ども創意くふう教室	一人ひとりの創造性を伸ばすこと目的に科学実験・工作教室を行う。(担当講師:川崎市元教員)	5回	11月末から実施予定
	7	出前教室	科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマに出前教室を行う。	通年	要望に応じて随時対応
	8	学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室	川崎市適応指導教室(ゆうゆう広場)に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて科学実験教室を行う。	24回	6月から実施中
	9	学校支援 かわさき GIGA スクール構想	学校の理科教育をより一層充実させるため、端末を活用したデジタル教材を提供する。	通年	公開中
出版事業	1	川崎市青少年科学館紀要の発行	調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第36号」に取りまとめ、PDFファイルを科学館ホームページで公表する。	通年	
	2	地層観察ガイドブック改定版の発行	地層観察ガイドブック改定版を科学館ホームページで公開する。	通年	

(5) ネットワーク事業

分野	事業名		事業内容	実施回数	事業実施状況
展示・企画	1	FIELD MUSEUM 展	令和8年1月に、専修大学ネットワーク情報学部コンテンツデザインプログラム専攻の学生がデザインした生田緑地の体験型教材等について、展示・解説を行う。	1回	1月開催予定
調査研究・収集保存	1	川崎市域の生物調査	「かわさき自然調査団」と共著で調査結果を公表する。「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入、問合せ等に対応する。	通年	適宜対応
学習支援	1	職場体験・職業インタビューの実施	中・高等学校の依頼に基づき、博物館業務の一部を体験学習させる職場体験や、市内小中学校等を対象に、博物館業務全般についての解説をする職業インタビューを行う。	通年	適宜対応
	2	中学校連合文化祭開催への協力	市内の中学生が集まり、川崎市中学校理科作品展に出展し、受賞した作品の研究発表を行う。 ※令和7年10月22日(水)会場協力予定	1回	10月開催予定

	3	教員・職員等研修の受入れ ・教員研修 ・教員社会体験研修 ・博物館実習	・学校及び理科研究会などの依頼により、自然観察（地層・林）や天文の研修会を実施する。横浜国立大学 CST 養成講座、川崎市総合教育センター依頼の研修会に対応する。 ・主に、県内小中高等学校、特別支援学校に勤務する教職員からの要請により、館の業務体験等の機会を提供する。 ・博物館学芸員を志す学生を有する大学からの要請により、プログラムを編成し、8月に2週間の実習を実施する。	通年	適宜対応
地域振興・生田緑地内	1	図書館、区役所等との共催事業の実施	プラネタリウムでの読み聞かせ事業の多摩図書館との共催、区民祭等多摩区役所が実施する各種イベントの共催、連携を推進する。	通年	区民祭 10月開催予定
	2	地域の大学、団体等との共催事業の実施	インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を推進する。	通年	適宜対応
	3	日本民家園との「七夕」「お月見」事業の共催等、生田緑地内施設との共催事業の実施	「七夕」「お月見」事業の日本民家園との共催により、プラネタリウムの関連番組の投影、七夕飾りつけ体験やお月見トークを行う。	通年	七夕事業は、7月5,6日の2日間にかけて実施予定 お月見は開催方法等を民家園と検討中
	4	生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	全体会議、広報担当者会議の参加、協力により、緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図る。生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催、生田緑地イベントガイド作成等により施設の回遊性の向上を図る。	通年	定期的な広報会議等で随時情報共有・交換を図る。

(6) 管理運営

		事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
管理運営	1	管理業務	指定管理者との連携により館を円滑に運営するとともに、予算の計画的執行、来館者数の確保を図る。 令和7年度は第3期指定管理の3年目となる。引き続き指定管理者と連携し、円滑な事業運営を行うとともに、自主事業の実施を支援する。	通年	指定管理者と市の連携により適切に運営中。
	2	危機管理	館の災害対応マニュアルについて適宜アップデートを行い、精度を高めるとともに、定期的な訓練等を通じて災害時における適切な対応の確保を図る。 また、指定管理者による緑地全体の危機管理マニュアルの整備、訓練等を通じて、広域避難所内の一施設としての適切な対応の確保を図る。	通年	館内防災体制の明確化のため、避難誘導、天文管理、施設巡回、初期消火、応急救護の5班を設置、マニュアルを作成し、非常時対応の共通認識を図っている。

	3	進行管理	事業の自己評価を適切に行い、青少年科学館専門部会の事業評価や指導・助言を踏まえて年度事業計画を策定し、事業実施・進行管理を行う。	通年	年間計画に沿った事業実施を図る。
科学館の魅力を高めるサービス展開	1	広報計画	科学館だより、プラネタリウムリーフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を広範かつ迅速に行うとともに、緑地全体の広報活動と連動した情報発信を行う。	通年	科学館だよりの発行や市発行の広報市等への掲載、館のSNS等で積極的に情報発信している。
	2	魅力を高めるサービス展開	適切な接遇及び研修による職員の専門性の向上、カフェ・ショップにおけるサービスの向上、来館者の利便性向上などにより、館全体の魅力向上を図る。	通年	適切な案内・接遇に努め運営中。職員の専門性を高めるための研修を行う。
	3	多様な利用者への配慮	バリアフリー関連設備・用具、表示の保全と研修等による人的支援の充実を図るとともに、外国人来館者も含め利用者の利便性向上を図る。	通年	施設設備のバリアフリー対応は確保されており、接遇面で外国人他多様な来館者に配慮した対応を継続中。

令和7年度 青少年科学館専門部会 今後のスケジュールについて

令和 7 年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
定例会議																																				

■ 定例会議スケジュール

- R6事業評価公表版の最終確認 (4月上旬)
- R6事業評価のHP掲載 (4月上旬)
- 第1回(7月9日)
・R7年度事業計画 (7月上旬)
- 委員による施設見学は随時対応。
ただし、報酬支払は1回のみ
(第3回期間中) (7月上旬～11月下旬)
- 第2回(10月下旬～11月上旬)
・R7事業中間報告 (10月下旬～11月上旬)
- 第3回(11月下旬～12月下旬)
・委員個別の施設見学、視察 (11月下旬～12月下旬)
- R7事業実績、自己評価案の作成 (12月上旬～1月下旬)
- 第4回(3月中～下旬)
・R7事業評価
・第3回施設見学報告
(事務局案の確認・決定) (3月中旬～下旬)
- R7事業評価に向けた準備(メール交換による作業)
3月上旬までに資料送付、委員が3月中旬までに評価作成
⇒事務局取りまとめ案作成 (3月上旬～下旬)

※ 現委員任期はR8年4月末まで